

S E I F U K U

福清

高野町議会



令和8年5月
第113号

題字 総本山金剛峯寺座主長谷部真道大僧正猊下

高野町議会だより

高野町立高野山小学校卒業式



高野町立富貴中学校入学式



令和8年1月臨時会及び令和8年3月定例会

おもな内容

- ◇自治功労者表彰 2 頁
- ◇1月臨時会の議案審議結果とその内容 3 頁
- ◇3月定例会の議案審議とその結果 4 頁
- ◇3月定例会の議案審議のおもな内容 5 頁
- ◇一般質問 9 頁
- ◇議会日誌、編集後記 14 頁

発行 高野町議会
編集 広報特別委員会

〒648-0281

和歌山県伊都郡高野町大字高野山636

TEL : 0736-56-2935

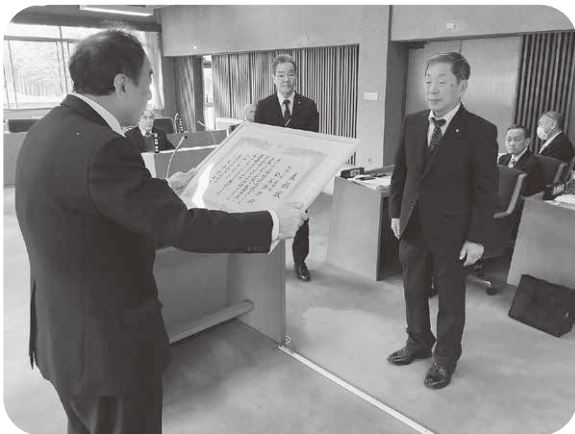
FAX : 0736-56-5300

mail : gikai-jimu@town.koya.lg.jp

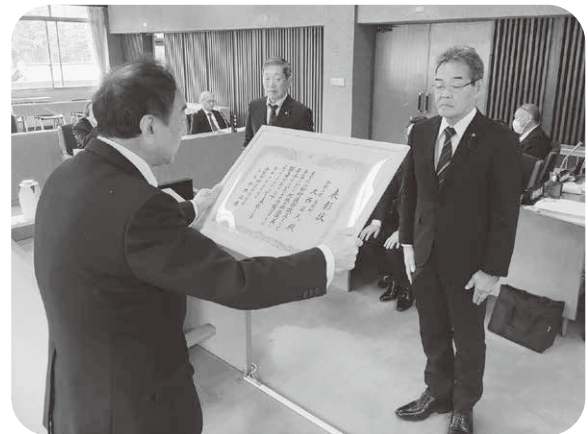
全国町村議会議長会自治功労者表彰

全国町村議会議長会自治功労者表彰として、松谷順功議員と大西正人議員が自治功労者表彰を受け、3月3日の定例会において表彰状の伝達がおこなわれました。

両議員は町村議会議員として十五年以上在職し、長年にわたり議員活動を通じ地方自治の進展のために大きな役割を果たしていることが認められたものです。



松谷順功議員



大西正人議員



1月臨時会の議案審議結果とその内容

1月臨時会 審議議案とその結果

令和8年1月23日に招集された臨時会には、補正予算1件の全1議案が審議され1月23日に閉会しました。

(審議結果：承認・可決は○ 否決は×)

議 題 名	付託委員会名	審議結果
令和7年度高野町一般会計補正予算(第8号)について		○

1月臨時会 議案審議の主な内容

補正予算

令和7年度高野町一般会計補正予算(第8号)について

内容 既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ46,700万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ45億3,430万円と定める。

質問 今回、ふるさと応援寄附金事業で2,070万円と、その上の基金管理事業が1,900万円ですが、これでトータル大体4,000万円ほど計上されているのですが、もうあと新年度予算までは1か月ちよっとしかありません。これは4,000万円というのは見込額なのかどうか答弁をいただきたいと思っています。

答弁 (企画公室長) ふるさと納税ですけれども、予定では2億円の御寄附をいただくようにしてあります。しかし、その後、担当者のほうもいろいろ工夫したり、謝礼品を追加したりということで、非常に多くの御寄附を頂いているのが現状です。12月末時点でもう2億円を超えています。当初2億円で予算を計上させていたでいていました。なので、この1月から3か月分を見越して大体4,000万円ぐらい入ってくると思われまます。既にもう委託料等が支払いできない状態になっているので予算を増額させていただいて、その分の謝礼品や委託料として支払いしたいということで、補正予算を計上させていただきます。

質問 この1か月半ぐらいで、あと残り3月新年度までで、4,000万円入ってくるという想定はあるのですか。

答弁 (企画公室長) 今回最終ということ、こういった増額補正をさせていただいています。

質問 子育て世帯に2万円、対象の生まれた新生児は何年の対象から頂けるのかと、上は18歳までなのか、お聞きしたい。

答弁 (介護福祉課長) まず、児童手当の対象は、0歳から高校生年代の18歳までが対象です。基準日は令和7年9月30日以降、令和8年3月31日までにお生まれになった新しいお子さんも対象となります。そして公務員につきましては、本来児童手当は職場で支給されております。今回の手当は高野町の住民であってほかの市町村にお勤めであったり、または国家公務員等も対象になっていきますので、その方々につきましては、職場で、証明を取っていただきます。それをもって高野町のほうに申請をいただくことになります。令和8年の5月の末頃までに振込を完了したいというふうに考えています。

反対討論 ふるさと納税として、臨時議会で4,000万円が歳出されています。この様な予算はいつもの定例会を出せばいいので新年度間に支出するのは不備があったのかと思いますし、災害や選挙費であるならば、納付出来ませんが腑に落ちない歳出予算に見えますので反対とします。

賛成討論 先ほどの説明では、ふるさと応援寄附金に関しての計上は、見込み違いであったとの事でした。そういうことはないように思うところではあります。物価高の影響を強く受けている子育て世帯への支援事業費が計上されており、これを早く、本当に早くお手元に届くような形で支援をしていただきたいと思えます。できる限り、専決よりもこういう機会があるのであれば議会で議論をして、そして住民の方に納得いただける形で予算を通すということが議会も必要であると思いますので、今回、臨時議会を開いたことも併せて、賛成したいと思えます。

採決 賛成5、反対1で可決されました。

3月定例会 審議議案とその結果

令和8年3月3日に招集された定例会には、報告2件、計画制定3件、条例改正6件、補正予算8件、新年度予算10件の全29議案が審議され3月24日に閉会しました。

一般質問については、5名の議員が後述の内容で質問を行いました。

(審議結果：可決・承認等は○ 否決は×)

議 題 名	付託委員会名	審議結果
損害賠償の額の決定について(町道高野幹線)		報告
損害賠償の額の決定について		報告
細川辺地に係る公共施設の総合整備計画の策定について		○
花坂湯川辺地に係る公共施設の総合整備計画の策定について		○
高野町過疎地域持続発展計画の策定について		○
高野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について		○
高野町火入れに関する条例の一部を改正する条例について		○
高野町火災予防条例の一部を改正する条例について		○
高野町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について		○
高野町課設置条例の一部を改正する条例について		○
令和7年度高野町一般会計補正予算(第9号)について		○
令和7年度高野町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について		○
令和7年度高野町国民健康保険富貴診療所特別会計補正予算(第2号)について		○
令和7年度高野町介護保険特別会計補正予算(第3号)について		○
令和7年度高野町立高野山総合診療所特別会計補正予算(第4号)について		○
令和7年度高野町簡易水道事業会計補正予算(第3号)について		○
令和7年度高野町下水道事業会計補正予算(第3号)について		○
令和8年度高野町一般会計予算について		○
令和8年度高野町国民健康保険特別会計予算について		○
令和8年度高野町国民健康保険富貴診療所特別会計予算について		○
令和8年度高野町富貴財産区特別会計予算について		○
令和8年度高野町介護保険特別会計予算について		○
令和8年度高野町立高野山総合診療所特別会計予算について		○
令和8年度高野町後期高齢者医療特別会計予算について		○
令和8年度高野町簡易水道事業会計予算について		○
令和8年度高野町富貴簡易水道事業会計予算について		○
令和8年度高野町下水道事業会計予算について		○
令和7年度高野町一般会計補正予算(第10号)について		○
高野町議会委員会条例の一部を改正する条例について		○

3月定例会 議案審議の主な内容

条例の改正

高野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

内容 令和8年度の国民健康保険税 子ども・子育て支援金制度の創設に伴い条例を改正し、また賦課限度額の引き上げ、軽減判定所得の基準額の変更を行う。

質問 国民健康保険税の徴収した一部を子ども・子育て支援金制度に回すということですが、どういった内容で子ども・子育ての支援をしているのか。

答弁 (住民健康課長) これらの資金については少子化、人口減少が進行していることもあって、政府は3・6兆円の子ども・子育て支援金の拡充を実施することを決めており、これらを育休などの期間中の支援金や産休期間中の支援金、または子育ての支援金制度に使用していきます。

高野町火入れに関する条例の一部を改正する条例について

内容 令和7年2月26日に発生した大船渡市林野火災を受けて、高野町火災予防条例に林野火災注意報及び林野火災警報が位置付けられたことから、国の通知及び気象庁の基準に合わせ修正する必要があるため。

質問 この中身に関して例えば、高野の火まつり等、そういうようなものが年間を通じて行事として行われていますが、これ

も対象になるのか。

答弁 (消防長) 高野の火まつり等に関して、火災予防条例の範囲になってくると思います。もし林野火災警報が発令されていけば、中止も考えていただくこととなります。

高野町火災予防条例の一部を改正する条例について

内容 対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令及び対象火気設備等及び対象火気器具等の離隔距離に関する基準が一部改正に伴い、高野町火災予防条例の一部を改正する必要があります。

質問 可燃物との許容最高温度を超えない距離は具体的にどれくらいですか。

答弁 (消防長) 前方においては1・5メートル以上、両横と後ろ側については1メートル以上、上方に1・2メートル以上というのが安全な距離の基準になります。

高野町課設置条例の一部を改正する条例について

内容 機構改革を行うため。

質問 新しく防災課ができるということですが、以前、防災対策課よりも防災対策室にするほうが住民の生命・安全を守れるという質問をしたことがあります。それに対して、現状は変わってきた、これだけいけるといような判断なのでしょうか。

答弁 (町長) 平成23年4月に、総務課内に防災対策推進室をつくり、防災に関することを総務課内の内室で防災行政を進めてきておりました。

平成27年度から、さらなる体制強化、それを目指して1つの課として防災危機対策室への昇格を図った経緯があります。

その後、防災行政対策が一定の進捗が見れたので、初動体制の人員確保ということ、令和4年4月に、総務課内室とさせていただきました。

しかし最近の災害状況を見た中で、高野町の住民の生命・財産を守るには、現在の体制に満足することなく、より迅速、また高度な防災・減災対策の強化が不可欠であると強く認識しています。そして、今後は、複雑化、また多様化する災害リスクに対応し、行政としての危機管理能力を最大限に高めるように努めていかないといけないと思います。このようなことから、防災課を提案させていただきました。

補正予算

令和7年度高野町一般会計補正予算(第9号)について

内容 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,200万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ45億9,520万円と定める。

質問 高野山子ども園評価委員会運営事業費30万5千円が減額されていますが、子ども園の評価委員会には厚生建設常任委員会からも1名評価委員として行かせ

でもらっていた経緯があると思います。これからも委員の選定は、町として関わっていくのでしょうか。

答弁 (介護福祉課長) こども園の評価委員会の委員の構成ですが、基本的には、今年度につきましましては、昨年度まで町のほうで担当していただいていたときと同じメンバーで構成させていただいております。変わることはありません。

質問 旧高野山中学校解体工事の実施設計業務の委託料ですが、どこまで解体するのですか。

答弁 (総務課長) 高野山中学校の除却ですが、本館と、特殊教室棟それに付随している建物等工作物、あと体育館につながる渡り廊下等とプールも撤去します。

本館の撤去ですが、杭は残す予定です。基本的には、更地にして、砂利を敷く予定にしています。

近くのこども園の前の駐車場の台数は幾らか確保してなるべく影響がないように防音対策として囲いをします。

アスベストの除去をした上で解体工事を行います。

基本的には、プールの除去をしている間に本館の備品等の整理も一緒にする予定です。備品等の整理のときに、住民の方にも周知して、中にある思い出の品を持って帰ってもらう計画にしています。

質問 富貴地区の医師の体調不良により夜間の救急外来を一時中止せざるを得ず、

予想していた輸送事業の稼働日数が大幅に減少したということになっていますが、患者輸送、夜間等の救急の体制で、どのようにこれをカバーしていけるのか現状と見通しについてははどうですか。

答弁 (消防長) 富貴地区の救急については、橋本市消防本部と応援協定を結んでいまして、橋本の消防本部が出勤可能な状況であれば、橋本消防が優先して出てくれています。その余裕のないときは、高野山の消防署から行って対応しております。

反対討論 昨年も1,000万円金剛峯寺公園に今年も中学校700万円解体費用が出ています。中学校解体費は2億4,000万円となっています。中学校解体費

など解体費用が予算で可決されればこの先小学校、公民館など沢山の解体費が続いて出ています。世界はイラン戦争をはじめガソリン高騰など大変です。こうした解体に向けての沢山の予算は、診療所と同じでよい結果ができません。活用を考えるべきです。昨年1,000万円が出された金剛峯寺公園の費用もまだ決まってもいないのに予算が出ているこの様ないい加減な税金の使用には反対致します。

採決 賛成6 反対1で可決されました。

令和7年度高野町立高野山総合診療所特別会計補正予算(第4号)について

内容 既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ700万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3億

2,610万円と定める。

質問 1週間のうちに週2回しか夜間診療がないのに、金曜日、夜間休止。では、夜間診療が少なくなったように思いますが、診療所になつてから、この辺のところにもっと力を入れるべきではないでしょうか。

答弁 (診療所事務長) 金曜日の夜間診療のほうにつきましては、実質の実績もほほよいような状態です。また、現在、看護師、外来看護師が1名休業しております、そのことにより、住民の安全が保てない状態での夜間診療を行うのはリスクが高いと考え、金曜日は停止しています。

反対討論 高野町の診療所看護師さんも休職、医師も、金曜日にも宿直なしで休止。消防職員も辞めた方も数名。これでは住民が安心して暮らせない。少子高齢化で子供が生まれても医師もいなく老人が病気になるってもこれでは不安です。減額理由は医師も看護師も減ったからで、この現状では高野町が情けないと思えない。この先が心配。よって減額予算に反対します。

採決 賛成6 反対1で可決されました。

新年度予算

令和8年度高野町一般会計予算について

内容 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ41億4,400万円と定める。

すが、指定管理料は、公定価格と公定価格外の子算とがあつて、看護師の配置や、保育認定の子供に対する送迎バスの提供は、本来ないところを高野町としては、無償で送迎バスを運行している費用もありますので、人数が減ったからといってそれに合わせて指定管理料を減らすことにはなりません。

質問 带状疱疹のワクチンは109件ということですが、これは、助成額が、その節目の年齢の方にはあるということですが、このことですが該当の方にはそういうことを伝えているのですか。

答弁 (住民健康課長) 带状疱疹の予防接種については、国の方針により、節目の年の方が定期の予防接種となり、郵便で通知しております。また当町としましては、その節目の年に該当しない方も50歳以上で節目の方に該当しない方も助成のほうをやらせてもらっています。その方においては、1回1万円の補助を出しております。予防接種1回を医療機関で受けましたら、2万円以上かかる接種ですが、ほぼ半分の1万円の補助を出しています。こちらのほうも、件数といましては25件の実績で上がってきております。

質問 森林環境贈与税の活用ですが、委託料であるとか、また負担金、補助金等で網羅されておるわけですが、この森林環境譲与税が、基金のところに積み立てられている総額が1億5,665万1,000円になるというふうな試算が出ていま

す。この積み立てた基金でこういうことをしたいという内容があまり見えない、林業の従事者の方が、これからも林業を続けていこうというふうな、もしくは林業の担い手に使えるようなことが考えられないのかというふうな思いがいたしますがどうですか。

答弁 (町長) 大規模な林道を造っていくという話ができたこともあり、今後、この基金をそこに充当できるのか、また国費をもつと活用することができないか、当然、ハード整備も大事であります。ソフト面、人材育成や、木育を進める等、いろいろあると思いますので、幅広くハード整備だけに使うのではなく、ソフト整備にも使えるように知恵を出してまいりたいと思います。

質問 地域おこし協力隊での大和当帰の継承事業がうまく行っているのかどうかお答えいただきたい。

答弁 (観光振興課長) 地域おこし協力隊で当帰の技術継承に入っていた方が3年目になります。うまく行っていると思います。今までにないほど技術も教えていただいている農家さんからの信頼も厚く、立派な当帰が育って、今後、この方が次の人にまた継承していけると見込んでいます。

反対討論 空海のドラマ化は見込みもないと答弁しながら10万円の支出、文化財関係(各寺院の仏像を調べるなど)で1,000万円。夜間診療は休止、旧小学校や古

い建物を除去前提の予算、旧小学校は小田原界隈の避難所となっているにもかかわらず除去。(代がえもまだ決まっていない)。中学校除去は2億4,000万円、小学校除去した後は本山返却となっている。(広い為に莫大な予算が必要になってくる)活用も考えず、診療所は夜間診療が休止となり、今や戦争もある中で石油やガソリンも高騰。そんな中で色々と無駄な予算が多く見えます。これでは住民の命も守られておりません。もっと住民にとり安心安全な予算を組むべきです。無駄な予算が多すぎる。よって反対です。

賛成討論 旧高野山中学校の解体に係る実施設計や解体工事については、学びの杜、公共施設集約化事業の完了後、期限のある補助金を使つての解体工事、除去に至るプロセスは合理的であり、また国との約束を果たすことにもなると考えます。その上で、令和8年度の当初予算は町長選挙を控え、新規の施策を抑制し、義務的経費、経常経費を中心に重要課題にも対応した骨格予算であり、行政サービスを途絶えさすことなく、持続可能な行政運営を行うための責任ある必要な予算であると思いますので、議案第16号、令和8年度高野町一般会計予算については賛成したいと思います。

採決 賛成6 反対1で可決されました。



松谷 順功 議員

町道五大連絡線について

質問 五大連絡線は今後の高野山の街並みを考えていくモデル区間として造られ、歩道と車道を併用し、歩道を石張り風にしていきます。現在損傷がひどいため、迂回、徐行との表示がされており、なぜ損傷したのか、理由をお聞きます。

答弁 (建設課長) 町道五大連絡線が整備されたのは平成27年3月で、完成から約10年10か月が経過しております。一般的に、石張り舗装は車両の通行による衝撃や環境変化の影響を受けやすく、本路線のような厳しい気象条件下では10年前後が大規模な補修を検討する目安とされており、損傷の理由としては、石張りの下層に設置した厚さ3センチの空練りモルタルが内部の水分凍結により膨張して石張りを押し上げ、路面の平坦性に差異が生じました。更に、その段差部分を車両が通過する際の衝撃により、石張り同士が接触、摩擦し、凹凸や剥がれに繋がったものと分析しております。

質問 7年度の補正予算で、コンクリート舗装での修繕工事費として500万円計上されております。石張りで環境整備を目指したにも関わらず、住民の方々に受け入れられませんか。

答弁 (建設課長) 復旧工法についてはコンクリートで復旧するように考えています。採択理由としては、第1に工期短縮が可能、第2に凍結・融解等の厳しい自然条件下においても高い耐久性を発揮すること、第3に周囲の既設石張りの部分と同系色の仕上げを施すことで、景観との調和も図れると思っております。

質問 この道、傷んだ理由の一つとして、京都のバスが考えられませんか。お客様は乗車されていませんが、路線になっているのでしょうか。

答弁 (観光振興課長) 京都のバスに関しましては、お客様を乗せる所からスタートですので、警察前から路線の開始、降りはお客さんを降ろした時点で路線の設定はなく、五の室で回ることが出来ず、通ったと聞いております。

質問 バス(大型乗用自動車)や、大型貨物自動車の通行規制は考えられませんか。

答弁 (建設課長) 道路管理者といたしましては、道路法第46条1項に基づき、道路の構造を保全するために車両の通行制限する権限を有しておりますが、現時点において、通行規制は考えておりません。しかしながら、路面状況や交通の実態を注視し、安全で円滑な通行を確保するため、検討します。

県道高野天川線について

質問 県道高野天川線についてですが、如意輪寺手前の欄干が危険との話が住民からあり、県に早急修繕するよう要望して欲しい。

答弁 (建設課長) 道路管理者であります伊都振興局に早急に復旧を要望してまいりませう。伊都振興局によりまして、現在高欄の付け替えに向けた補修設計を進めている段階であり、設計案がまとまり次第、関係機関と協議を進めると聞いております。

質問 町長、五大連絡線の補修・管理の件について答弁いただけませんか。

答弁 (町長) この路線は、私自身も非常に必要になった事で、まずは工法やコスト面において最適な条件を提示するよう担当課に指示し、私自身も現場を確認いたしました。2034年の御遠忌(ごおんき)前には大規模な修正が必要になると予想されます。そのため、現時点では一部コンクリート修繕をし、まずは一時的な修繕に留めるのが最善ではないかと考えております。また、大型車両通行の規制に関するご質問もございました。アスファルトと石畳の双方にまたがって走行せざるを得ない現状では、さらなる損傷を招く恐れがあります。そこで、当該路線を通行していたバス事業者に対し申し入れを行ったところ、「今後は通行しない」との回答を得ており、事業者との合意は図られているものと認識しております。今後も道路管理者の立場として、適切な対応を取ってまいりたいと考えています。私としては、本路線は高野山全体の景観を考えると位置づけられますので、重要な区間であると位置づけていますので、それを常に念頭に置きながら、路線の改良工事に努めてまいります。



菊谷 元 議員

スキー場の管理について

質問 令和8年2月にスキー場にて、有志による清掃活動の中で、地面に炭を直火で燃やし、またそのごみを放置された件について火災等が発生したときのことを考えますと、消防署等の関係部局も一緒に対策について協議はされたのか。

答弁 (観光振興課長) 町として現地確認を行い、火気使用の禁止及びごみの持ち帰り呼びかける警告看板を設置するなど、早急に対応を行ったところでございます。また、近年では、ごみの放置が多く見られ、カセットガスコンロにて煮炊きやお湯を沸かす行為、バーベキューコンロの使用が行われており、金剛峯寺と協議をした結果、この場所はキャンプ場ではないという内容と、火気厳禁等の看板を追加し、様子を見ることとなりました。今回のような地面での使用は、状況によっては火災発生につながる危険性もあることから、消防をはじめ、関係部局とも情報共有を行ったところでございます。引き続き、火気使用に関する注意喚起や巡回の強化など、再発防止に向けた対策について協議、検討してまいります。引き続き、利用者及び近隣住民の安全安心の担保にも努め、適切な施設管理を行ってまいります。

答弁 (消防長) 消防の役割としましては、所有者である金剛峯寺また、観光振興課から通報があれば現場に臨場しまして、火災予防上、危険性があるというような事が認められる状況であれば、適宜、適切な注意や指導を行うものかなと思っております。また防災行政無線を活用することも視野に入れて考えられるのかとも思います。

実証実験による期間限定の駐車場有料化をした今後の対応について

質問 実証実験による期間限定の駐車場有料化をした今後の駐車場の運用や運営について、金剛峯寺と協議はされているのか。

答弁 (観光振興課長) まず、令和6年11月に実施しました事業はオーバートリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業というもので、駐車場有料化事業につきましては連携事業者である金剛峯寺が実施いたしました。今後の駐車場運用や運営につきましては、金剛峯寺の考えでは、まず実証事業を実施した、中の橋駐車場と金剛峯寺第2駐車場の2か所を有料化に向け整備を行い、一、二年以内には有料化したいとの意向をお持ちです。体制が整った後、しかるべき時期に高野町が町営駐車場として受託する方向で金剛峯寺と協議をしているところでございます。引き続き、2か所の駐車場の受託方法を含め、高野町全体の駐車場問題の解決策について金剛峯寺と協議してまいります。

高野町版ライドシェア「のこりや」の事業実績、その後の事業展望について

質問 本町においてもバスやタクシーなどの公共交通が運行されていますが、体調や時間の制約などにより、利用したくても利用できない住民の声を伺うことがあります。特に高齢者にとっては、通院や買物など、日常生活を支える移動手段の確保は、ここ高野町で住み慣れた地域で暮らしたい、暮らし続けるための大切な条件でもあると考えます。「のこりや」高野町版ライドシェアの、後の事業展望について考えはあるのか。

答弁 (企画公室長) 今後、このライドシェアの本格運行を行う場合には、タクシー会社やバス運行会社などの既存の交通事業者が参画する高野町公共交通活性化協議会において事業の承認を得る必要があります。今回のアンケート結果を交通会議で公表して、委員の方々ともこの公共ライドシェアの運行をはじめとするこれからの高野町の交通体系の在り方について検討してまいります。と考えています。

答弁 (町長) 町としましては、住民サービスの向上に直結する財源の確保を目指しているところですが、町の限られた財源を投入する以上、その施策が一過性のものに終わってはなりません。10年、20年と続く「持続可能な仕組み」を構築する必要があることから、財源確保は避けて通れない必須課題であり、最優先事項であると考えております。そのためにも、議員ご指摘の有料駐車場の話や、今後検討していくべき法定外の新たな財源確保についても、議論を避けることなく考えていかなければならないと思っております。



新谷 英一郎 議員

町職員の働き方改革について

質問 令和6年に質問した町職員の働き方改革について、その後の状況と取組について改めて伺います。地方自治体の人材の確保について厳しい状況にあります。現在の職員数と年代構成、募集と応募状況・各部署の人材(人員)確保の状況についてお聞きします。

答弁 (総務課長) 実際の職員数は126名で、会計年度が37名、合計163名となっております。年齢構成は、10代が2名、20代が30名、30代が15名、40代が29名、50代が39名、60代が11名となっております。

応募状況と人材の確保ということでは、令和7年度は9月に一般職員及び消防職員の採用試験を実施し、一般職は受験者4名合格者2名で採用決定は1名。消防職は受験者7名合格者4名採用決定4名です。その後、追加募集をして1月に一般職及び消防職の採用試験を実施し、採用決定3名。随時募集として、一般事務職で社会人枠としては、採用決定4名。保健師で採用決定2名。土木技術職で採用決定1名。看護師で採用決定2名となっております。社会福祉士、主任介護支援員は申込者なしでした。専門職の募集に関しては随時募集を行い、通年での応募を可能としています。併せて年齢の引上げも行い、知識

や経験を積極的に取り入れるような採用とされています。

質問 年度の途中で、職員の募集から採用に至る間、業務に支障が生じるのではと危惧します。そのような人材の不足が生じた場合、どのようにカバーし対応していますか。

答弁 (総務課長) 職員が急に辞めたときに、余裕があれば仕事を分担しながら、もちろん課長や係長も含めてカバーし対応していくのが基本です。最近是对応し切れないこともありますが、その間、ちよつと無理しても上司のほうをカバーし、早めに随時募集で新しい職員を入れて対応するから、その間だけカバーをお願いしたい、という形で対応しているのが現状です。

質問 高野町の職員になってよかったなという思いを持って務めてほしいですが、働く職場の環境づくりも大事です。ワーク・ライフ・バランスの取組に関して、改善した点と課題を伺います。

答弁 (総務課長) 基本的には時間外勤務労働が一番の問題ですが、各所属長において公務の能率の維持や職員の健康保持の観点から、その緊急性を十分に精査した上で適切な業務遂行を前提として、やむを得ない場合に限り時間外勤務労働を命じています。時間外労働は、平均してみると大体2時間ぐらいです。年次休暇は、大体13日ぐらいの有給休暇を取ることができています。中には人材不足により、業務が集中してしまったケースもありますので、業務の改善整備などを行いたいと考えています。

質問 前回のハラスメント関連の質問の際、実態の把握について、意識調査、聞き取り等をはじめいくというお答えでした。併せて、相談体制と研修の状況についてお聞きします。

答弁 (総務課長) 職員には年1回、職員申請書の提出を求めておりハラスメント等に関しては、それによって把握することも可能です。提出した職員については、副町長が個人面談を行っています。相談体制としては、基本的には総務課長と補佐が相談を聞きまます。もしハラスメント等で相談があれば、その部署全員にヒアリングを実施して、事実関係の確認を行っています。研修については、県の研修協会のほうで管理職研修や係長研修のときにハラスメント研修を実施しており、徹底した研修が行われています。

質問 今後も意識調査や聞き取り、アンケート調査等も継続していただく一方、相談しやすい上司と職員の関係づくりもお願いします。研修は、係長・課長クラスでしているとのことですが、職員の皆さんがいろんな形でハラスメントについて研修、学習することも必要かなと思います。

答弁 (町長) 職員の働く環境につきましては、高野町だけでなく、多くの自治体で離職者が多いという課題を耳にする時代となっております。今後、様々な職種で人材確保が困難になっていく中で、やはり働きやすい環境づくりは、しっかりと進めていかなければならないと考えております。その点につきましては、さらなる努力をしていきたいと考えているところです。



大西 正人 議員

令和8年度（骨格）予算編成について

質問 今回の予算は町長選挙を控え、政策的な新規事業を控えた骨格予算として編成されています。しかし、町民の生活はコロナ過や物価高騰の影響を受け、待ったなしの課題も多く存在する中、骨格予算とはいえ町政運営に空白があつてはならないと考えます。まず令和8年度予算編成の基本的な考え方、方針を伺います。

答弁（企画公室長） 行政の継続性を重視し、義務的経費や継続事業を中心とした骨格予算として編成することを基本としております。経常的経費を中心に計上し、行政サービスの停滞を招かないことを最優先に、切れ目なく進めるべき継続事業など、喫緊の課題に係る経費については、所要の額を計上し、新規事業や政策的判断を要する経費につきましては、選挙で信任を得た新町長の考えの下、改めて6月定例会に肉づけとなる補正予算を上程するとしています。

質問 この予算編成において最優先で取り組む重点施策を伺います。

答弁（企画公室長） 計画の継続と住民サービスの堅持として、子育て支援、高齢者福祉及び教育環境の整備。安全・安心の確保で生活インフラの維持管理、長寿命化事業。旧高野山小・中学校、実施設計業務と除却。世界遺産の保全管理及び景観維持等を考えております。

質問 高市内閣は重点支援地方交付金の拡充で、物価高対策、生活支援等を打ち出しています。当町の物価高対策、生活支援については、どのような考えを持っておられるのですか。

答弁（企画公室長） 物価高対策は、本来に必要なものと認識しています。今、各課にどのような事業があるのか投げかけているところで、しかるべき時期にしかるべきタイミングをもって対応したいと考えております。具体的な施策については検討段階です。

質問 予算編成プロセスと、各部署からの予算要求に対する査定のポイントを伺います。

答弁（企画公室長） まず予算編成方針の決定、各部署からの予算要求、財務当局による査定を経て当初予算案を調整しました。査定のポイントは、全ての事業について長期総合計画の将来像に直接寄与するか、重要業績評価指標の達成に資

するかを最優先の基準として精査しています。また事務事業の徹底した見直しと効率化です。将来にわたる財政負担をシミュレーションし、本町の財政規模に見合った適正な予算規模であるかを厳しく査定しております。

質問 町の財源である地方交付税の法定税率の引上げを町議会議長会、町村会で力を合わせ、税率の引上げについて強く求めていく動きが必要と思いますがいかがですか。

答弁（町長） 和歌山県町村会を通じて、県町村議会とともに国に対して要望してまいります。私自身、現在は全国山村振興連盟の副会長も仰せつかっておりますので、地方交付税の充実に向け、さらなる努力をしていきたいと考えております。

質問 最後に今回の骨格予算編成について町長の考えを伺います。

答弁（町長） 切れ目のない支援と各種施策という考えで、今議会に予算を提案しています。6月議会に提案されるであろう補正予算の内容、具体的な規模については、4月の町長選挙で新しく選ばれた町長の考えの下に編成されるべきものと思っております。私としては、大切なのは町政を一日たりとも停滞させず、新任期における準備を整えていくことだと考えております。



所 順子 議員

旧学校除去について

質問 公共施設除去事業として（旧中学校）2億4千万円がでており、小学校解体実施設計費880万円。中学解体工事監理委託費490万円、昨年旧小学校解体設計費420万円と出ております。この見積もりはどこがされたのか。又解体する建物は全て本山の土地なのか。

答弁（総務課長）高野山小学校は本山、公民館は本山と遍照光院、中学校は町の土地です。見積もりは、中学校は岡本設計、後は町の見積もり。

質問 中学校だけでこの様な2億4千万円です。小学校と公民館解体となれば計り知れない何十億円にもなるのではと危惧致します。小学校解体後は本山に返却すると町は云っているが、小学校は小田原地区の避難所となっております。避難所のこととはどの様に考えているのか。又町長は議会にも報告もせず昨年4月頃には本山との話し合いの中で小学校の舗道を壊し、大学の中を通させると云う駐車場の計画を話ししていると言いますが、これはどう考えてのことですか。残して使用できるものは使う、そう云う考えは全く頭がない町。避難所も除去する計画ならば、代替えの所を先に作るべき。学びの杜やお寺に頼んでいるとかは考えられません。早急に考えておくべき。この問題はいくら考え直さないのかと云ったところで町と議員で成立

して行く事でしょう（3月議会では予算可決）トップ会談（本山と町長）だけでなく議会にも報告してから進めるべき。

答弁（町長）公共施設除去については議会にも相談もし報告もしろと指導いただいたのでその様にやって行きたいと考えています。

職員について

質問 職員が誰の目から見ても減った様に思えます。何名の方が辞められたのですか。消防職員も今年2名辞めると聞いています。その理由は何か。

答弁（総務課長）令和6年度は18名の中で、定年5名、消防3名（退職者）です。

質問 去年は中堅の職員が沢山辞められたように見え、これでは残った職員に負担が多くなり職務が大変と聞こえてきます。今年も又消防職員が2名辞めたと聞いております。これでは医療が充実しておらず、インバウンドや御遠忌には沢山の来山客に支障がきます。駐車場などの事を考えたり建物除去などを考えている場合ではないと思います。職員の確保、消防職員の確保を考えるべき。少子高齢化の進む町には重要です。職員が辞めて行く理由や何故辞めると云ったら止めていただけなかったのか。現実には18名辞めています。それを改善するのが町の役目。給料が安いと云うならば議会にもかけて考えればよい事です。もっと職員を大切にしたい。

答弁（副町長）私は全て止めています。辞める理由は給料が安いとか人間関係、パワハラなど。止めましたが残って仕事をすると云う方はありませんでした。私の努力不足と云う事もあります引き続き

止めていきます。

ネパール行きについて

質問 9月議会で991万円がネパール行きとして予算が出ておりました。ネパールには何名で行かれたのですか。

答弁（企画公室長）町長、議長、企画2名、金剛峯寺3名、大学から前副学長の8名です。予算はどの様に使用されましたか。だいた

質問 一人100万円程度の計算となります。ネパールは物価も安くそんな一人100万円もありません。豪勢な最高級な視察だと思えます。前は金剛峯寺さん3名は説明の中には入っておらなかったです。その予算も高野町から出している。その辺は違う様に思います。混同されている様にも見受けられます。声明ショーを3人でして頂いていたと聞きましたが、たくさん費用を使い高野町のメリットは何ですか。今頃は戦争や石油高騰の中での沢山の予算の使用。この様なお金は今後、高野町の為に使用していただきたい。行かれたメリットはどの様に。

答弁（企画公室長）予算上は800万円ですが、そこまでかかりません。

質問 金剛峯寺には町からお願いをして行って頂いた。ホテルは知事と同じホテルです。メリットはネパールからはこちらに来て頂くと云う事はないと思うが仏教の世界や文化などを高野町の人にも知っていただきたい。

質問 それは行った人にしかわからないですよ。

答弁（企画公室長）高野の人にも知っていただきたいのとネパールの人にも高野を知っていただきたい。10周年記念行事として行きました。

1月

- 内外情勢調査会若山支部例会(和歌山市)
- 橋本広域市町村圏組合議会代表者(会議)エゴライフ紀北)
- 県議長会正副会長会議及び理事会
- 県国民健康保険運営協議会会長会議(日赤会館)
- 県後期高齢者医療広域連合臨時議会(紀の川市役所)
- 第1回広報特別委員会(清福1-12号)
- 町月例監査
- 高野町都市計画審議会・都市計画マスタープラン策定委員会
- 第2回広報特別委員会(清福1-12号)
- タブレット導入視察(白浜町議会)

2月

- 県正副議長事務局局長研修(白浜町)
- 北方領土返還和歌山県民大会(橋本市教育文化会館)
- 橋本広域市町村圏組合議会定例会(エゴライフ紀北)
- 和歌山県後期高齢者医療広域連合議会定例会(ダイワロイネット)
- 高野町連合町内会総会
- 令和7年度富貴小学校学習発表会
- 町月例監査
- 高野天川線整備促進協議会
- 高野町国健康保険運営協議会
- 高野山診療所運営委員会
- 高野町子ども観光大使成果発表会
- 令和7年度第5回高野町景観審議会
- 令和7年度第1回高野町環境維持基金処分検討委員会

3月

- 議会運営委員会
- 高野山中学校卒業式
- 高野山小学校卒業式
- 富貴小学校卒業式
- 町月例監査

一般質問 (質問の詳細については、9～13ページに掲載)

受付順	氏名	質問事項
1	松谷 順功	○町道五大連絡線について ○県道高野天川線について
2	菊谷 元	○スキー場の管理について ○実証実験による期間限定の駐車場有料化をした今後の対応について ○高野町版ライドシェア「のってこーや」の事業実績、その後の事業展望について
3	新谷 英一郎	○町職員の働き方改革について ○富貴診療所について
4	大西 正人	○令和8年度(骨格)予算編成について
5	所 順子	○公共施設除去について ○有料駐車場について ○職員について ○ネパール視察について

一般質問のしるし

『発言』および『答弁』の内容は、質問者に編集・校正をお任せし、広報特別委員会の責任のもと掲載しております。

編集後記

朝夕の寒暖差も和らぎ、木々が緑に輝き始める季節になってまいりました。3月3日に開会された定例会では、新規事業などを控えた新年度予算(骨格)など29議案が審議されました。

中東情勢の影響等による、物価高騰に対する施策についても、質問のなかで「しかるべきタイミングをもって対応したい」との説明があり、提案の内容が待たれるところ。4月には町長選挙があり、現職が4期目の当選を果たしました。再選された町長には住民福祉の向上と、高野町の未来を創る仕事に全身全霊で取り組んでいかれると期待します。6月の補正予算では、新たな事業が提案されると思われ、より一層気を引き締め、しっかりと審議してまいります。

今、街中ではインフルエンザや花粉症でお困りの方が多いと存じますが、町民の皆さまには、どうぞお身体を大切に過ごしてください。(M・O)

本会議の様子をインターネットで録画配信しています。

審議内容および一般質問の詳細については、高野町ホームページをご覧ください。議会事務局にお問い合わせください。

高野町HP
<http://www.town.koyawakayama.jp>
 議会事務局：☎0799-59-2000